

第3学年 国語科学習指導案

日時 平成21年 9月9日(水) 4校時

児童 3年2組 男18名 女17名 計35名

指導者 小森 慶子

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう
教材名 すがたをかえる大豆 食べ物はかせになろう 本で調べる

2 単元の指導にあたって

(1) 児童の実態

1学期の説明文教材「ありの行列」の学習では、要点をまとめたり、段落意識をもって文章を読んだりする学習をおこなった。また、「おもしろいもの、見つけた」の学習では、段落を意識して自分の見つけた面白いものを紹介する文章を書く活動に取り組んだ。

読むことの活動では、要点をまとめるために、題名にかかわる言葉や接続語が大切だということをほとんどの子どもが理解している。また、中心となる語や文を見つける学習に、意欲的に取り組もうとしている。しかし、自力で要点をまとめる活動や、段落相互の関係を考えることを苦手としている児童もいる。また、書くことの活動では、自分の伝えたいことがはっきりとしていないまま学習を進め、取材や構成に思いをもって取り組めない児童もいる。

読書を好み、朝読書など、日常の中で読書に親しむことができているが、選ぶ本は物語が多く、科学的な読み物を自分から手にする機会は少ない。

なお、本学級の児童の国語の学習に対する好感度は、次のような結果であった。

	1 好きだ	2 どちらこと言えば好きだ	3 どちらかと言えば好きではない	4 好きではない
本学級	28.6%	31.4%	31.4%	8.6%

好感度は、決して高いと言えない。アンケートで3・4を回答した児童の中には、特に、読むことについて好きではないと回答した児童が多い。

(2) 教材について

本単元は、第2学年「サンゴの海のいきものたち」で学習した二つの事例についての説明の仕方や、第3学年「ありの行列」で学んだ仮説―検証型の文章構成を受け、解説型の文章構成を学ぶ単元である。これは、第4学年『かむ』ことの力』の段落相互の関係をつかむ学習につながっていく。また、本単元は、情報活用単元であり、第2学年「一本の木」の学習を受け、材料の選択や収集をして自分の文章に生かすことを学ぶ。これは、第4学年「アップとルーズで伝える」で行う情報の取捨選択につながっていく。

本教材「すがたをかえる大豆」は、身近な食材でありながら、その加工については子ども達にあまり知られていない大豆について書かれた文章である。「はじめ」と「終わり」が、「説明することの紹介」「全体のまとめ」になっていて、児童が文章を書く際の参考にしやすい。また、「中」は、「おいしく食べるくふう」と「食品」が段落ごとにまとめて書かれているので、整理しながら読みとりやすく、解説型の説明文の様式をつかむことができる教材である。

「食べ物はかせになろう」では、調べ学習の仕方について説明されている。「本で調べる」と合わせて、題材の選び方・調べ方・メモの取り方・まとめ方について順を追って学習できるように説明されている。ここで紹介されている作文の例は、接続語をもとに読み取りやすく書かれており、読み手を意識し、自分の考えが明確になるような段落構成を意識させることができると考えられる。

(3) 指導にあたって

読む活動で学んだことを書く活動に生かすこと、説明文を読む学習の楽しさやよさを感じながら意欲的に取り組むことの2点をねらい、次の指導の工夫を行う。

- ①単元の導入には、ブックトークを行う。ブックトークの内容に、「食べる工夫」と「食品」を入れ、教材文の読みの視点を児童が意識をもち、見通しを持って学習に取り組めるようにする。また、身近な食べ物に興味をもたせることから、普段読むことの少ない科学的な読み物の並行読書を行う。
- ②知らせたい、書きたい思いを十分に育むため、並行読書の時間を多く設定する。分かったことを書きためていけるようなカードを用意し、知り得た情報について伝えたい思いを育んでいく。
- ③同じ筆者の大豆について書いた本を紹介し、伝える目的や考えによって扱う事例や段落相互の関係が変わることに気づけるようにする。

- ④題材を選ぶこと・調べること・メモを取ること・まとめることの各段階において、米を共通の題材として技能を習得し、自分の選んだ題材でも見通しをもって学習を進められるようにする。
- ⑤自分たちで書いた本を図書館に置くことを話し、目的意識・相手意識をもって書き、低学年の児童に分かりやすい文章を書けるようにする。
- ⑥教室内に国語辞典・実際の調理器具・手をくわえている様子がわかる写真を置き、「手をくわえるときの言葉」の理解を深める。

3 単元の見通し

- ◎ 身近な食べ物のことに興味をもち、いろいろな本や文章を読もうとする。 (関心・意欲・態度)
- ◎ 中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、大豆をおいしく食べるための昔の人々の知恵を読み取ることができる。 (読むこと イ)
- ◎ 段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して身近な食べ物のことを文章にまとめることができる。 (書くこと イ)
- 表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる習慣をつける。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 カ)

4 指導計画 (17時間 読むこと7 書くこと10)

		学習内容
一次	1	・ブックトークを聞く。 ・感想をもち、単元の見通しをもつ。
	2	・全文を読み、大豆の食べ方がいくつに分けて書いてあるか予想をたてる。 ・手を加えるときの言葉を書き出し、調べる。
二次	3	・「学習」をもとに表の書き方を理解する。 ・おいしく食べる工夫と食品を書きだして表にまとめる。
	4	・「学習」をもとに、「はじめ」と「終わり」の役割について確かめる。
	5	・「中」で書かれていることを確認し、文章の書かれ方を確かめる。
	6	・小見出しを考え、段落相互の関係を考える。 ・筆者の意図を想像する。
	7	・同じ筆者の大豆について書いた本を読み、目的に応じて段落相互の関係や事例の順序の順序が変わることを確かめる。
三次	8	・「食べ物はかせになろう」の全文を読み、活動の見通しをもつ。
	9	・調べたい食べ物をきめる。
	10	・「本で調べる」をもとに、調べ方を覚える。 ・目的に合った図書資料の見通しをつける。
	11	・調べて分かったことを情報カードに書く。
	12	・調べて分かったことを情報カードに書く。
	13	・情報カードを整理し、小見出しを書く。 ・書く順番を決める。
	14	・題材が似ている友達と情報カードのまとまりを見せあい、順番が適切かアドバイスをし合う。
	15	・まとまりごとに文章を書く。
	16	・まとまりごとに文章を書く。 ・書いた文章を推敲する。 ・必要に応じて絵をかく。
	17	・「食べ物はかせ発表会」としてお互いに本を読み合い、良いところを見つける。 ・単元全体を振り返った自己評価をする。

5 本時の指導

(1) ねらい

- ・ブックトークを楽しんで聞き、身の回りの食べ物の本に興味をもつことができる。 (関心・意欲・態度)
- ・文章の内容と自分の経験や問題意識とを結び付けた考えや感想を表すことができる。 (読むこと イ)

(2) 展開

段階	学習活動	学習内容 (○発問 ☆児童の反応)	言語活動と評価
つかむ 10	1 「こんだてクイズ」を聞き、課題を確認する。	○給食で多く使われている食材はなんでしょう。 ・本を読むことによって食べ物の秘密がわかることを確かめる。	・9月の給食の献立からクイズを出し、自分の経験と重ねて考えられるようにする。
	食べ物のひみつについて書かれている本を楽しもう。		
ふか 15	2 ブックトークを聞く。 (1) 「すがたをかえる米・麦」のブックトークを聞く。	○すがたをかえるとは、どういうことでしょうか。 ☆色が変わる ☆形が変わる ☆違う食べ物になる ○ご飯のつぶが目に見えないすがたのかえ方をします。なんでしょう。	言語活動① ブックトークを聞き、考えを表す。 B ブックトークの内容と自分の経験を結び付けた考えを表すことができる。 ・食べる工夫と食品について話す。 ・カビや微生物の力を借りた例を示し、興味をもてるようにする。
め 10	(2) 教材文「すがたをかえる大豆」のブックトークを聞く。	○9月の給食で、37回も使われている食材があります。なんでしょう。 ○米は、調理されてごはんになります。麦は、調理されて何になると書かれていますか。 ☆パンやめん類 ○なぜ、「大豆がたべられていること」は、知られていないのでしょうか。 ☆すがたをかえているから	・第1段落の一部分を読み、
7	3 学習計画を確かめる。 4 感想を書く。	・学習計画を掲示し、活動の見通しや、自分たちがどのような力をつけるかがわかるようにする。 ・はじめて知ったこと、これからがんばりたいことの2点について書く。	
まとめ 3	5 次時の内容を確認する。	・ブックリストの本の表紙の写真を見せる。	具体的評価規準 ・ブックトークの内容や学習計画について自分の経験と結び付けた考えや感想を書くことができる。 (ワークシート)

細案

段階	学習活動	学習の進め方	言語活動と評価
<p>つかむ</p> <p>10</p>	<p>1 「こんだてクイズ」を聞き、課題を確認する。</p>	<p>T今日の国語の学習は、教室の中にあるものを使います。(ゆっくり) (歩いて行って、掲示しているものを取り出す。)</p> <p>Tこれです。(見せながら)</p> <p>Cへー。</p> <p>T給食で多く使われている材料はなんでしょう。</p> <p>C (ほぐしたいので、5人。内容は問わない。)</p> <p>C</p> <p>C 牛乳→T 確かに</p> <p>C 塩→T なるほど(それは、調味料だとか言わず、勢い重視)</p> <p>C</p> <p>T 1 2回出ます。</p> <p>C 米</p> <p>C パン</p> <p>C</p> <p>T「こめ」という言葉は、実はこんだて表に1 1回しか出てきません。でも、9月の給食でみなさんは、米に1 2回出会います。なぜでしょう。実は、答えがここに(隠している本を示す)あります。さあ、今日の学習の課題ですよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 9月の給食の献立からクイズを出し、自分の経験と重ねて考えられるようにする。 本を読むことによって食べ物の秘密がわかることを確認する。
<p>食べ物のひみつについて書かれている本を楽しもう。</p>			

<p>ふ</p> <p>か</p> <p>15</p>	<p>2 ブックトークを聞く。</p> <p>(1) 「すがたをかえる米・麦」のブックトークを聞く。</p>	<p>T 米のひみつを見つけてくださいね。(といいながら、本を出す。)</p> <p>T すがたをかえるとは、どういうことでしょうか。</p> <p>C 色が変わる。</p> <p>C 形が変わる。</p> <p>T ようすがかわるのですね。</p> <p>C 違う食べ物になる。</p> <p>T うん、うん。</p> <p>T 食べる工夫と食品を見ていきましょう。</p> <p>T 一つ目。米は、このままでは、かたくて食べられません。米を炊いたものがご飯です。(表紙の写真)</p> <p>T 二つ目。きりたんぽってしていますか。(見せる) 読みます。「ご飯をつぶしたものを木の棒に巻きつけて作ります。まわりをこんがり焼いて、野菜や鶏肉などと一緒に鍋にして食べます。」</p> <p>T 三つ目。おもちです。(見せる) もち米という種類の米を使います。読みます。「もち米はあらって、一晩水につけておきます。せいろでむします。うすにあけ、きねでおもちをつきます。そして、丸めます。</p> <p>T 四つ目。せんべいです。(見せる) 読みます。「米をよくあらって、こなにします。粉をむして、よくねって生地を作ります。薄く伸ばした生地をせんべいのかたちになめてかんそうさせます。しょうゆなどの味をつけて出来上がりです。」</p> <p>T 五つ目。問題です。もっともっと、ご飯のつぶが目に見えないすがたのかえ方をします。なんでしょう。</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>T 液体です。</p> <p>T 調味料です。</p> <p>T 黄色です。</p> <p>T 香りがします。</p> <p>T つんとします。</p> <p>T 酸っぱいです。</p> <p>C 酢です。</p> <p>C 酢です。</p> <p>T 米は、酢にも変わります。</p> <p>T つぶつぶが、見えませんね。あるものの力をかります。</p> <p>T 1 カビ</p> <p>2 小さな生物</p> <p>C (挙手)</p> <p>T 聞いてください。「麹菌。食品の発酵を進める、良性のカビの一種」「酵母。酒やパンの発酵に欠かせない酵素をたくさん含んだ微生物」どちらもです。みんな正解。</p> <p>C へー。</p> <p>T さて、こんだて表に米は、11回出てきます。どうして12回といったのでしょうか。皆さんは、今度の金曜日の給食で、米のもう一つのすがた、酢に出会います。どこにかくれているか楽しみにしてください。</p>	<p>言語活動①</p> <p>ブックトークを聞き、考えを表す。</p> <p>B ブックトークの内容と自分の経験を結びつけた考えを表すことができる。</p> <p>・三つ目・四つ目は、時間との相談。</p> <p>・食べる工夫と食品について話す。</p> <p>・カビや微生物の力を借りた例を示し、興味をもてるようにする。</p> <p>・三浦先生を目指して!</p>
-----------------------------	--	--	---

<p>め る 10</p>	<p>(2) 教材文「すがたをかえる大豆」のブックトークを聞く。</p>	<p>T実はね、お米もびっくりの37回があるのです。給食は、18回なのに、37回も出会うのですよ。 Tそれは・・・ T大豆です。 Cなんで（といわれたい。言われなくてそれなりに。） Tその答えは、この本に書いてあります。（ゆっくり教科書を出す。） Tはじめのところを読みますね。（紙板書をはる。） （1文目読む。2文目読んでから） T米は、調理されてごはんになります。麦は、調理されて何になると書かれていますか。 Cパンやめん類 Tなぜ、「大豆がたべられていること」は、知られていないのでしょうか。 Cすがたをかえているから C見た目がわからなくなっているから。 C他の食品になっているから。 Tすばらしいですね。実は、この筆者の国分牧衛さんも、みんなと、同じように考えたのですよ。そして、この教科書を読むと、どんな食品になって22回出てくるのかが分かるようになります。 Tできるだけ、音を立てずに、元の席に戻りましょう。</p>	<p>・学習計画を掲示し、活動の見通しや、自分たちがどのような力をつけるかわかるようにする。</p>
<p>7</p>	<p>3 学習計画を確かめる。 4 感想を書く。</p>	<p>Tそれでは、明日から、「すがたをかえる大豆」を読んで、37回のひみつをさぐりましょう。大豆の他にも食べ物には、まだまだひみつがあります。朝読書で他の本も読めるように、用意しますね。そして、書き方をみんなで学習して、ひみつを教える「食べ物はかせ発表会」をしましょう。 T感想を書きます。はじめて知ったこと、これからがんばりたいことの2つについて書いてください。 C37回も大豆が・・・秘密を知りたいです。 C酢のことにびっくりしました。他の調味料のことを知りたいです。</p>	
<p>ま と め る 3</p>	<p>5 次時の内容を確認する。</p>	<p>T（ブックリストの本の表紙の写真を見せる。）こんな本を用意しましたよ。（時間調整） T今日は、お弁当です。大豆はかくれているのでしょうか。見つけた人は、教えてね。 挨拶</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>具体的評価規準 ・ブックトークの内容や学習計画について自分の経験と結び付けた考えや感想を書くことができる。 (ワークシート)</p> </div>

食べ物はかせ発表会
1716・・・1

発表

書き方

すがたをかえる大豆

・・・

大事なことをたしかめよう
すがたをかえる大豆 国分 牧衛

大豆

米

食べ物のひみつについて書かれている本を楽しもう。